

いろいろなみんなが いっしょにいるには

所属	愛知県岩倉立曽野小学校	実践者	村田 知美
対象	小学校2年生（30名）	実践日	2023年11月～12月
実践教科	学級活動	時間数	6時間
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 人によって同じところ、ちがうところがあることを知る。 ちがいを肯定的に捉える。 いろいろな人が共にいるために、自分にできることを考える。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	すき・きらいもいろいろ <ul style="list-style-type: none"> スタンダアップ(あなたはどっち?○か×か) ◆【アイスブレイク】 4つのコーナー(以下、毎回初めに行った) ★【アイスブレイク】 お題を聞いて、「はい」「どちらかというはい」「どちらかというといえ」「いいえ」という表示のところに動き、その理由を説明する。 わたしを表す10の文 ★ 「わたしは…」で始まる文を10個書き、グループで交流する。 	参考文献等 ★…NIED・国際理解教育センター「参加型アクティビティ集 コミュニケーション編」より
	2	ぞくせい、見た目もいろいろ <ul style="list-style-type: none"> ちがうところ・おなじところ 【プレスト】 ★◆ グループの4人の、相違点・共通点を挙げる。 宇宙人に自己紹介 【KJ法】 【ロールプレイ】◆ 宇宙人に「地球人」を説明する設定で、地球人の特徴を考える。 	◆…大阪府人権協会「人権学習シリーズ vol.4 ちがいのとびらー多様性と受容ー」より
	3	かんじ方、とらえ方もいろいろ <ul style="list-style-type: none"> 怒りの温度計 ◆ 「もしこんなことがあったら？」というお題を聞いて、自分ならどのくらい怒るか、メーターの上に消しゴムを置き、感じ方を伝え合う。 おはなしづくり ◆ 同じ写真を見て、それぞれの視点や感じ方をシェアする。 	●…映画「ぼくたちの哲学対話」より その他 ・大阪府在日外国人教育研究協議会「ちがいでキドキ多文化共生ナビ1・2」
	4	「ふつう」って何? <ul style="list-style-type: none"> 何に見えるかな ● 同じ形を見て、何に見えるかを伝え合う。 「ふつう」ではじまる10の文★ 「ふつう…」で始まる文を10個書き、グループで交流する。 	
	5	「ちがったらだめ」の国 <ul style="list-style-type: none"> 自分とちがうと、どう感じる? (ここまでの振り返り) 「ちがったらだめな国」だと、どうなるかな? 【派生図】 	
	6	いっしょにいるには <ul style="list-style-type: none"> いろいろなみんなが、かなしくならず、いっしょにいる方法 【プレスト】 自分にできることはなんだろう? 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 「自分のことがわかった」「仲間のことがもっと知りたい」という感想や、「同じでも違ってもいい」「なかまはずれや攻撃はしない」と、違いを否定しない、排他的行動をしない、という声が多く聞かれた。 全6回の参観を校内で呼びかけた。アクティビティのうちいくつかは、同僚にも使ってもらっている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「違いを否定はしない」声は多く聞かれたが、「肯定的に捉える」という当初立てた目標に迫る内容になっていなかったと反省した。次に生かしたい。 自己受容、感情リテラシー等の側面も加味した、低学年の段階からのプログラムが作りたい。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から定期的に、感情とニーズを聴き合う活動を行っている。 第6時で「けんかになりそうな時は、すぐに謝るほうがいい」「自分の思いは引っ込める」という声が散見された。攻撃的ではなく、相手のことも思いながら、自分の思いを伝える方法があることを伝えたところ、児童から続編のリクエストがあったので、3学期に継続して実施している。 		